

2025年3月期 第3四半期 決算説明会資料

2025年2月5日



株式会社新日本科学

SHIN NIPPON BIOMEDICAL LABORATORIES, LTD.

1. 総括と今後の見通し	P. 3
2. 2025年3月期 第3四半期決算概要	P. 6
3. 事業トピックス	
①CRO事業（非臨床）	P. 18
②CRO事業（臨床）	P. 25
③TR事業	P. 27
4. Q&A	

1. 2025年3月期 第3四半期総括と今後の見通し



代表取締役会長兼社長
永田 良一

1. 2025年3月期 Q3累計業績

- 売上高、利益ともに計画を上回って推移、通期業績予想を上方修正
- 新日本科学PPD（関連会社）からの持分法利益は、前Q3累計比21%増の24億円と過去最高を更新
- Satsuma社経鼻偏頭痛薬 STS101の再申請は米国FDAが11月25日に受理、審査終了目標は25年4月30日

2. 2025年3月期 通期見通しと今後の方向性

- 海外からの顧客獲得を戦略的に強化
- 通期受注高は前年比15%増の316億円、海外受注高は同76%増の124億円（海外比率39%）を予想
- STS101は販売パートナー候補企業との協議を継続中

3. 創薬エコシステム構築への取組み

- 政府主催の「創薬エコシステムサミット」で発表
- アステラスつくば研究センター内オープンイノベーション拠点に隣接する動物実験施設でサービス開始
- 25年1月にJPMカンファレンスで日米投資家とバイオテック企業をつなぐレセプションを開催

JPMカンファレンス2025でレセプションを開催



日米の機関投資家約40名、バイオテック/スタートアップ企業の経営層70名超ら総勢約190名が参加



2. 2025年3月期 第3四半期決算について



常務執行役員
IR広報統括部長
サステナビリティ担当
岩田 俊幸

2025年3月期Q3 決算ハイライト



- Q3累計業績は期初計画を売上高、利益とも上回る
- 売上高は非臨床事業で当期受注・当期売上が期初計画を大きく上回り、Q3累計として過去最高
- 営業利益が前Q3累計比6.4億円減益の要因は、米国Satsuma社の経費が前Q3累計比11.0億円増加したことが主因

(単位：億円)

	2024年 3月期 Q3累計	2025年3月期		
		Q3累計	前期比	
売上高	179.8	222.3	+42.5	23.6%
営業利益	25.3	18.9	-6.4	-25.3%
経常利益	48.8	41.3	-7.5	-15.3%
経常利益 (為替差損益影響を除く)	46.0	45.1	-0.8	-1.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	37.9	32.0	-5.9	-15.5%

← Q3累計として過去最高

← Satsuma社が前Q3から連結化、
販管費11.0億円の増加要因

← 為替差損益が6.6億円減少要因

2025年3月期 Q3累計期間の収益構造

【Q3 累計期間の収益構造の推移】 (単位：百万円)

	FY3/23 Q3累計	FY3/24 Q3累計	FY3/25 Q3累計	増加額
売上高	16,371	17,984	22,235	4,251
売上原価	7,724	8,447	10,552	2,105
労務費	4,397	5,223	5,943	720
売上総利益	8,646	9,537	11,683	2,146
売上総利益率	52.8%	53.0%	52.5%	
販売管理費	4,862	7,001	9,789	2,788
人件費	1,994	2,256	2,917	661
研究開発費	378	1,302	1,829	527
飼育管理費	651	909	1,564	655
販売管理費率	29.7%	38.9%	44.0%	
営業利益	3,783	2,535	1,893	-642
営業利益率	23.1%	14.1%	8.5%	
営業外損益	3,096	2,348	2,244	-104
持分法利益	1,984	2,148	2,628	480
内、新日本科学PPD	1,611	2,011	2,445	434
為替差損益	1,185	279	-380	-659
経常利益	6,880	4,884	4,138	-746
経常利益率	42.0%	27.2%	18.6%	

【戦略的な大型先行投資によるコストアップの主因】

- ・ 人件費（売上原価中の労務費および販売管理費の人件費合計）
：前Q3累計比 13.8億円増（Satsuma社 4.3億円増）
- ・ 研究開発費：前Q3累計比 5.2億円増（Satsuma社 5.4億円増）
- ・ 飼育管理費：前Q3累計比 6.5億円増（国内NHP繁殖強化が主因）
- ・ 減価償却費：前Q3累計比 5.0億円増（大型設備投資による）

【持分法利益】4.8億円の増益要因

24/3期Q3累計 +21.4億円
⇒25/3期Q3累計 +26.2億円

【為替差損益】6.6億円の減益要因

24/3期Q3累計 +2.8億円
⇒25/3期Q3累計 △3.8億円

2025年3月期 Q3セグメント別の収益構造



【Q3累計期間のセグメント別売上高・営業損益の推移】

(単位：百万円)

		FY3/23 Q3累計	FY3/24 Q3累計	FY3/25 Q3累計	伸び率
CRO事業	売上高	15,515	17,483	21,726	24.3%
	営業利益	4,453	4,342	5,036	16.0%
	営業利益率	28.7%	24.8%	23.2%	
	持分法利益	1,984	2,148	2,628	22.3%
	(うち新日本科学PPD)	1,611	2,011	2,445	21.6%
	事業利益	6,437	6,490	7,664	18.1%
TR事業	売上高	12	9	49	
	営業利益	-518	-1,627	-2,681	
	(うちSatsuma)		-812	-1,911	
メディポリス事業	売上高	492	492	389	
	営業利益	-167	-100	-275	
その他事業	売上高	1,165	1,163	1,430	
	営業利益	115	95	44	
調整額	売上高	-814	-1,165	-1,361	
	営業利益	-99	-173	-228	
合計	売上高	16,371	17,984	22,235	23.6%
	営業利益	3,783	2,535	1,893	-25.3%
	営業利益率	23.1%	14.1%	8.5%	

※事業利益は営業利益+持分利益

非臨床事業の受注高と受注残高の推移



【新日本科学の非臨床事業の四半期別受注動向】

(単位：百万円)

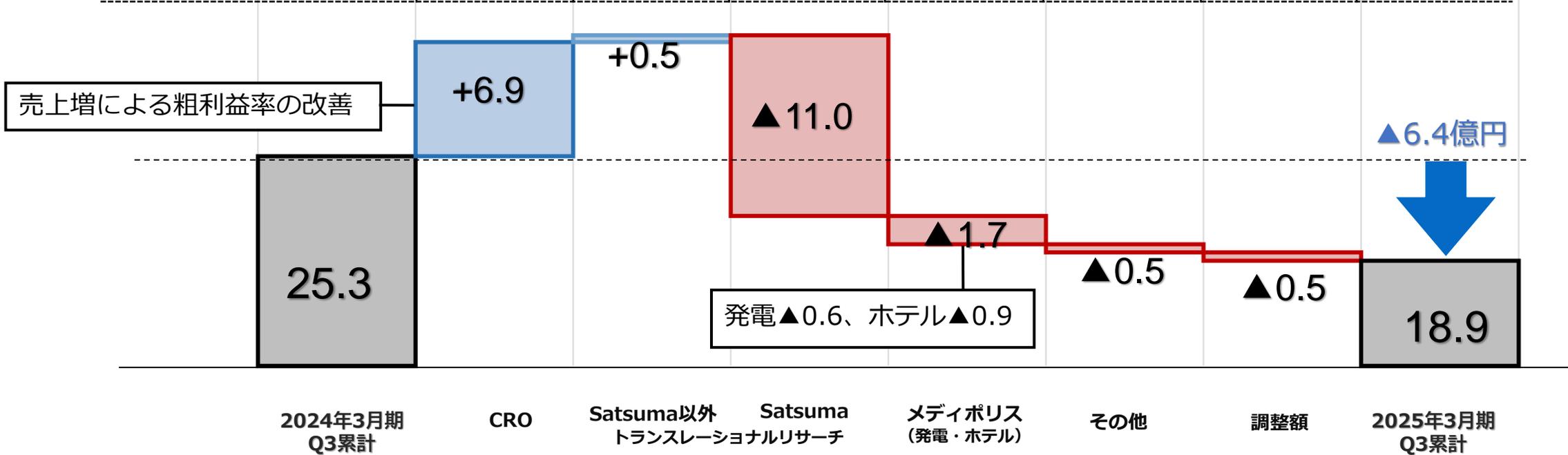
	FY 3/23					FY 3/24					FY 3/25			
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q3	通期(予)
受注高	7,219	6,153	5,905	5,642	24,920	8,398	4,217	8,044	6,752	27,411	7,170	8,141	7,364	31,600
国内受注高	3,887	3,754	3,726	4,971	16,339	6,208	3,471	5,051	5,628	20,358	4,001	5,755	4,243	19,166
海外受注高	3,332	2,399	2,179	671	8,581	2,189	745	2,993	1,124	7,051	3,170	2,385	3,120	12,434
欧米	2,844	484	1,489	420	5,237	1,661	827	1,830	755	5,073	1,659	1,994	2,825	-
アジア	488	1,915	690	251	3,344	527	-81	1,162	368	1,976	1,510	391	295	-
海外受注高比率	46.2%	39.0%	36.9%	11.9%	34.4%	26.1%	17.7%	37.2%	16.6%	25.7%	44.2%	29.3%	42.4%	39.3%
キャンセル	-549	-926	-1,414	-1,281	-4,169	-475	-1,559	-834	-1,110	-3,978	-2,217	-1,043	-733	-
新規受注額	7,768	7,079	7,319	6,923	29,089	8,873	5,776	8,878	7,862	31,389	9,388	9,184	8,097	-
受注残高	25,756	33,672	32,585	29,248	29,248	33,329	32,210	33,863	33,212	33,212	36,053	35,877	35,568	-

- (注) 1. 23/3期Q2からイナリサーチ含む。受注済案件の中止（キャンセル）が発生した場合は、その時点でマイナス計上
 2. 海外受注高は円換算レートを各期の期中平均レートで算定しております。
 3. 海外受注残高は円換算レートを各期の期末レートで算定しております。

2025年3月期Q3 連結営業利益 前期比較



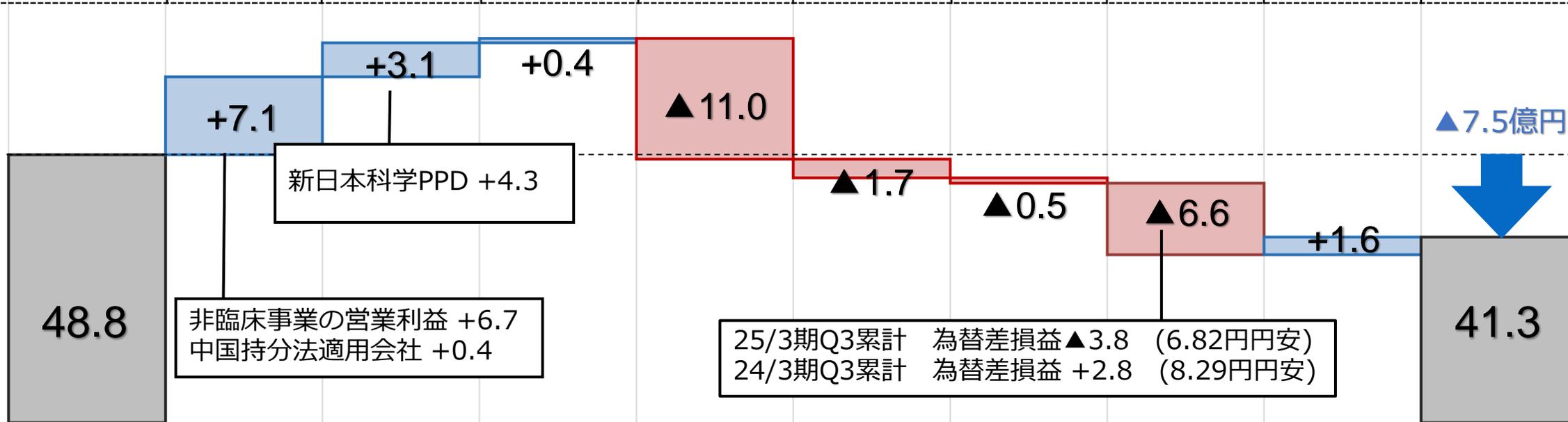
(億円)	CRO事業	トランスレーショナル リサーチ事業		メディポリス 事業 (発電・ホテル)	その他	調整額	営業利益 合計
		Satsuma以外	Satsuma				
2025年3月期Q3累計実績	50.3	-7.7	-19.1	-2.7	0.4	-2.2	18.9
2024年3月期Q3累計実績	43.4	-8.1	-8.1	-1.0	0.9	-1.7	25.3
前期比増減額	+6.9	+0.5	-11.0	-1.7	-0.5	-0.5	-6.4



2025年3月期Q3 連結経常利益 前期比較



(億円)	CRO事業		トランスレーショナル リサーチ事業		メディポリス 事業 (発電・ホテル)	その他	為替差損益	調整	経常利益 合計
	非臨床事業	臨床事業 (新日本科学PPD含む)	Satsuma以外	Satsuma					
2025年3月期Q3累計実績	52.0	24.5	-7.7	-19.1	-2.7	0.4	-3.8	-2.3	41.3
2024年3月期Q3累計実績	44.9	21.4	-8.1	-8.1	-1.0	0.9	2.8	-3.9	48.8
前期比増減額	+7.1	+3.1	+0.4	-11.0	-1.7	-0.5	-6.6	+1.6	-7.5



2024年3月期
Q3累計

非臨床

臨床
(新日本科学PPD
含む)

Satsuma以外
トランスレーショナルリサーチ

Satsuma

メディポリス
(発電・ホテル)

その他

為替差損益

調整

2025年3月期
Q3累計

- 売上高はFY3/24期比21.0%増、3期連続過去最高を予想
- 営業減益予想の主因は、Satsuma社の経費22.4億円（FY3/24期比9.0億円増）と戦略的な大型先行投資によるコストアップ

(単位：億円)

	2024年 3月期	2025年3月期		
		通期 業績予想	前期比	
売上高	264.5	320.0	+55.5	21.0%
営業利益	41.6	29.0	-12.6	-30.3%
経常利益	70.1	59.0	-11.1	-15.8%
経常利益 (為替差損益影響を除く)	69.5	62.8	-6.7	-9.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	55.3	44.0	-11.3	-20.5%

事業セグメント別の推移



【セグメント別 売上高・営業損益】

(単位：百万円)

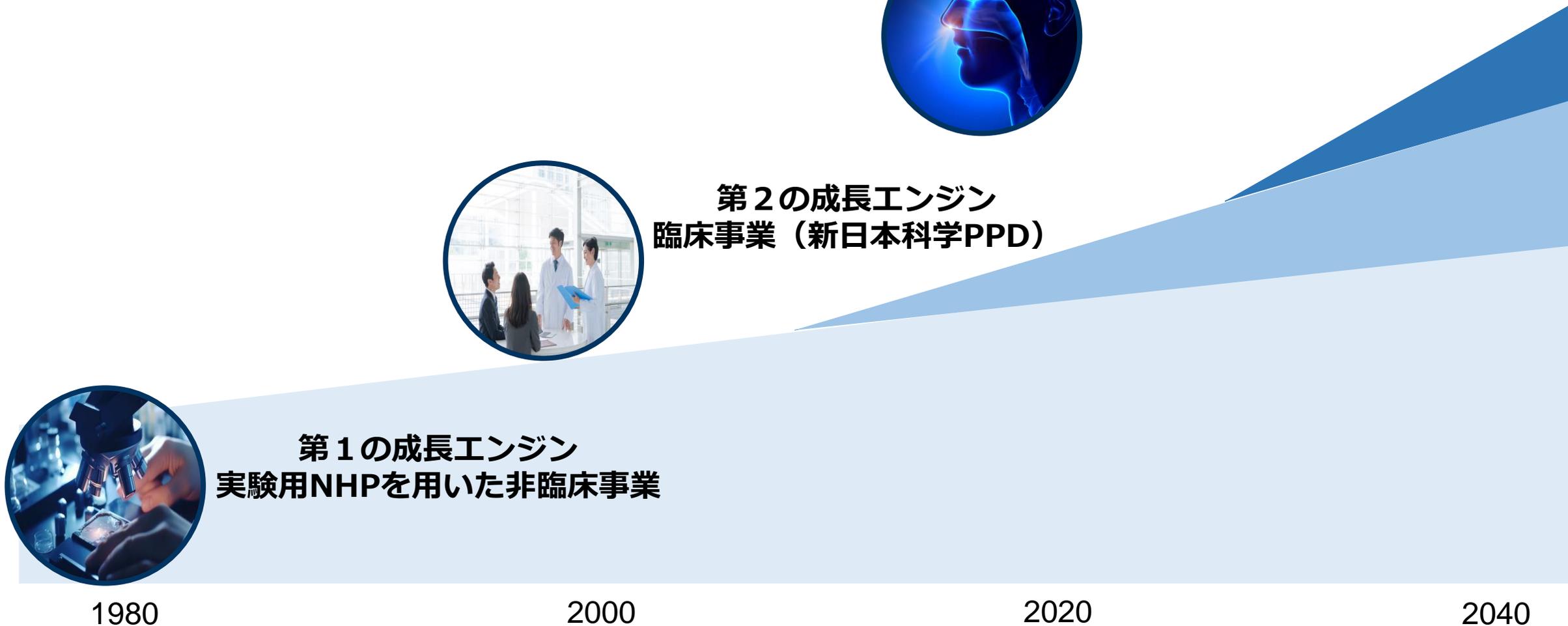
	FY3/21	FY3/22	FY3/23	FY3/24	伸び率	FY3/25 (予)	伸び率	
CRO事業	売上高	14,508	17,047	24,000	25,909	8.0%	31,571	21.8%
	営業利益	3,393	5,035	6,336	6,998	10.4%	7,483	6.9%
	営業利益率	23.4%	29.5%	26.4%	27.0%		23.7%	
	持分法利益	848	1,438	2,489	2,751	10.5%	3,384	23.0%
	(うち新日本科学PPD)	864	1,258	1,967	2,631	33.8%	3,149	19.7%
	事業利益	4,241	6,473	8,825	9,749	10.5%	10,867	11.4%
TR事業	売上高	12	12	16	13		165	
	営業利益	-708	-746	-879	-2,465		-3,526	
	(うちSatsuma)				-1,344		-2,242	
メディポリス事業	売上高	552	563	683	569		562	
	営業利益	-54	-17	-203	-254		-412	
その他事業	売上高	503	968	1,437	1,407		2,572	
	営業利益	-35	41	110	88		89	
調整額	売上高	-466	-844	-1,047	-1,448		-2,870	
	営業利益	-65	-116	-118	-205		-734	
合計	売上高	15,110	17,748	25,090	26,450	5.4%	32,000	21.0%
	営業利益	2,529	4,195	5,245	4,162	-20.6%	2,900	-30.3%
	営業利益率	16.7%	23.6%	20.9%	15.7%		9.1%	

CRO事業は売上高、利益ともに過去最高を予想

Satsuma社は前年比9.0億円の赤字拡大

※事業利益は営業利益+持分法利益

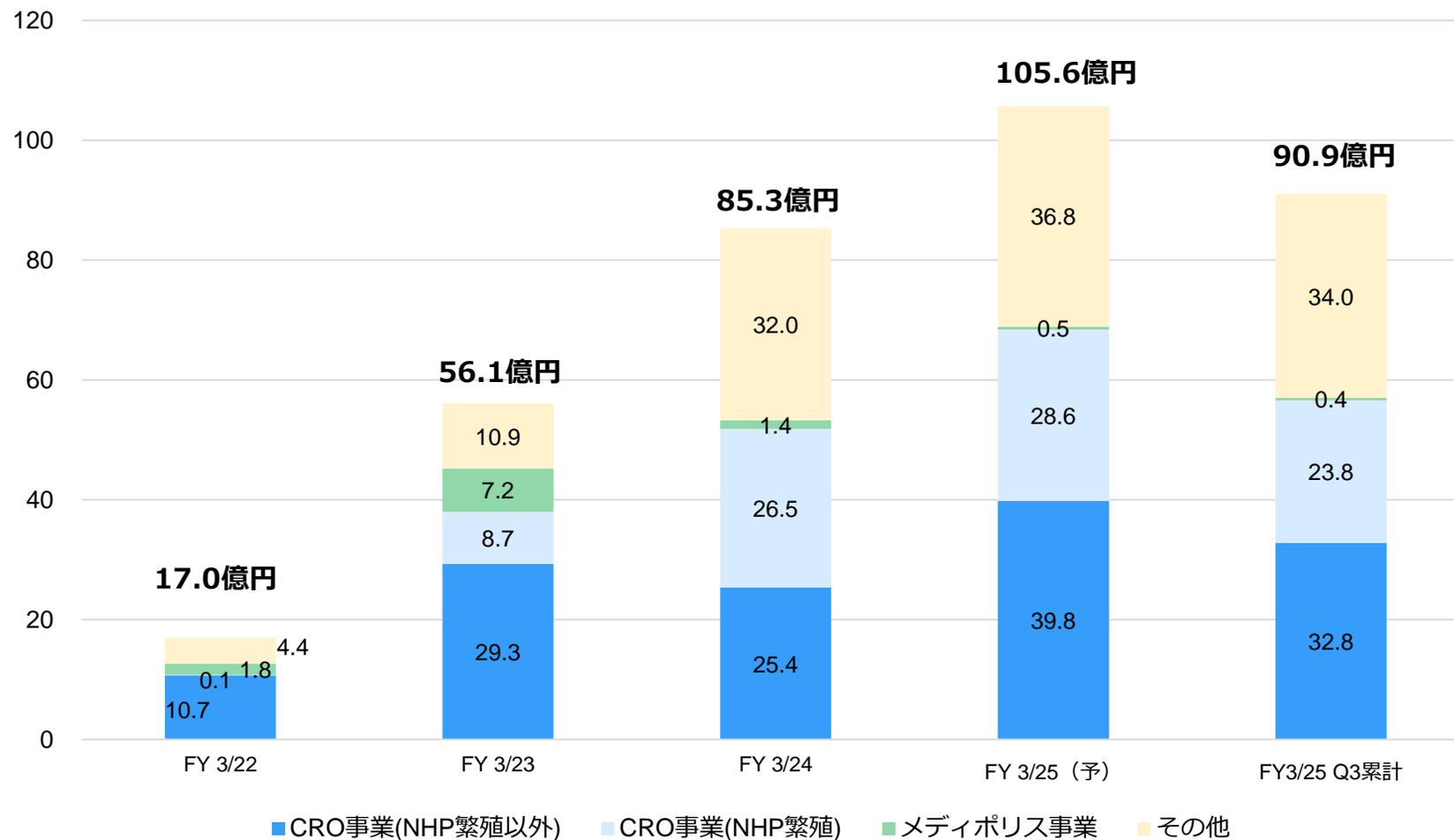
持続的成長のための3つの成長エンジン



設備投資の状況

2025年3月期Q3累計の設備投資額は90.9億円

(単位：億円)



鹿児島本社 新社屋研究棟竣工

為替評価損益（営業外損益に計上）

2025年3月期Q3累計実績：

為替差損益 ▲381百万円（2024年3月末：151.33円 ⇒ 2024年12月末：158.15円）

1円/米ドル 円安の場合

2024年3月末時点 ▲13百万円 ⇒ 2024年12月末時点 ▲9百万円

2025年3月期 想定為替レート： 145円/米ドル

為替相場変動の影響：1円/米ドルの円安では、

- ・売上高： 52百万円プラス影響
- ・営業利益： 13百万円プラス影響

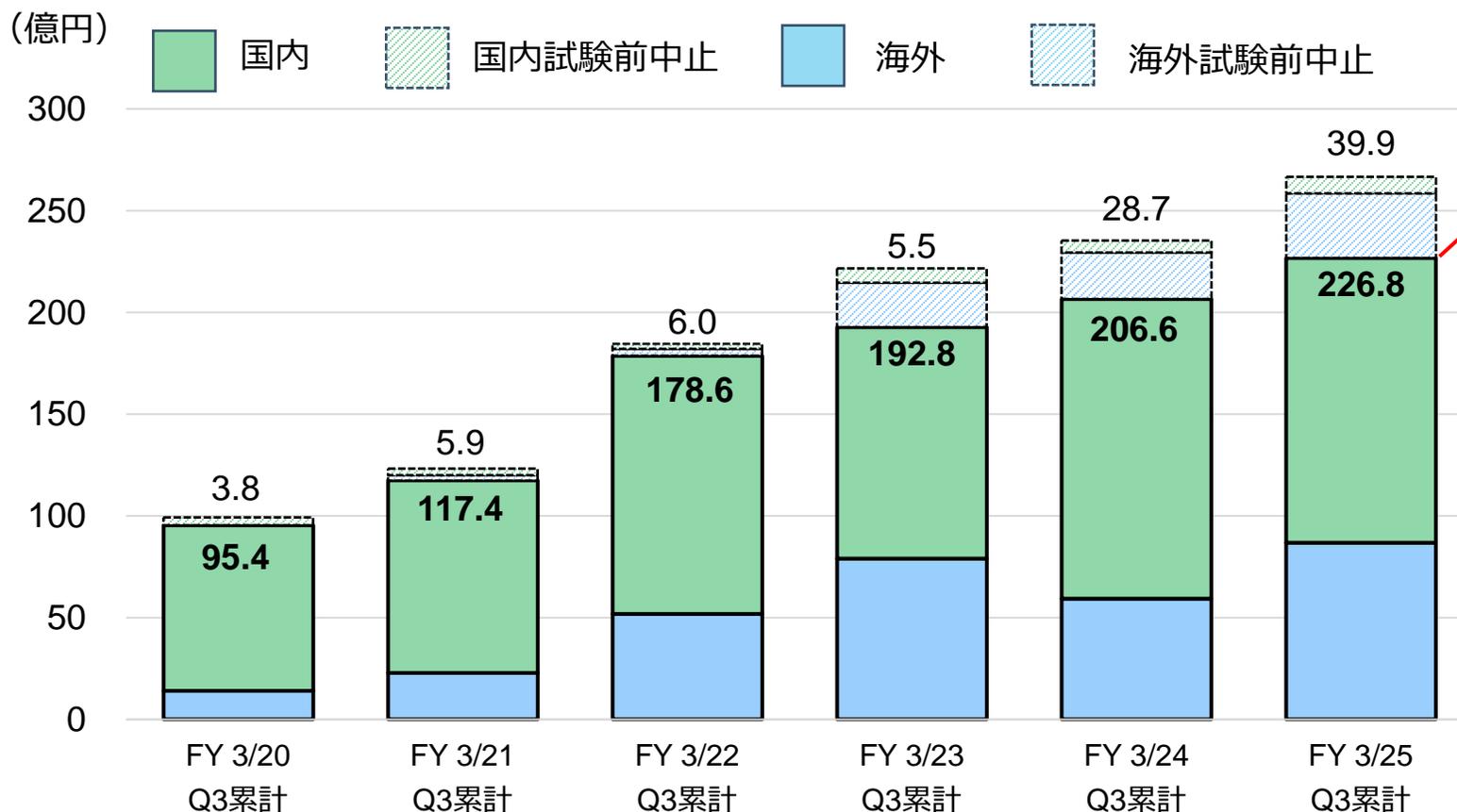
3. 事業トピックス

① CRO事業（非臨床）



専務取締役
欧米営業統括部長
角崎 英志

CRO事業：2025年3月期 第3四半期 非臨床 受注状況（円ベース）



前期Q3比 +20.2億円
換算レート(期中平均)153.03円/\$

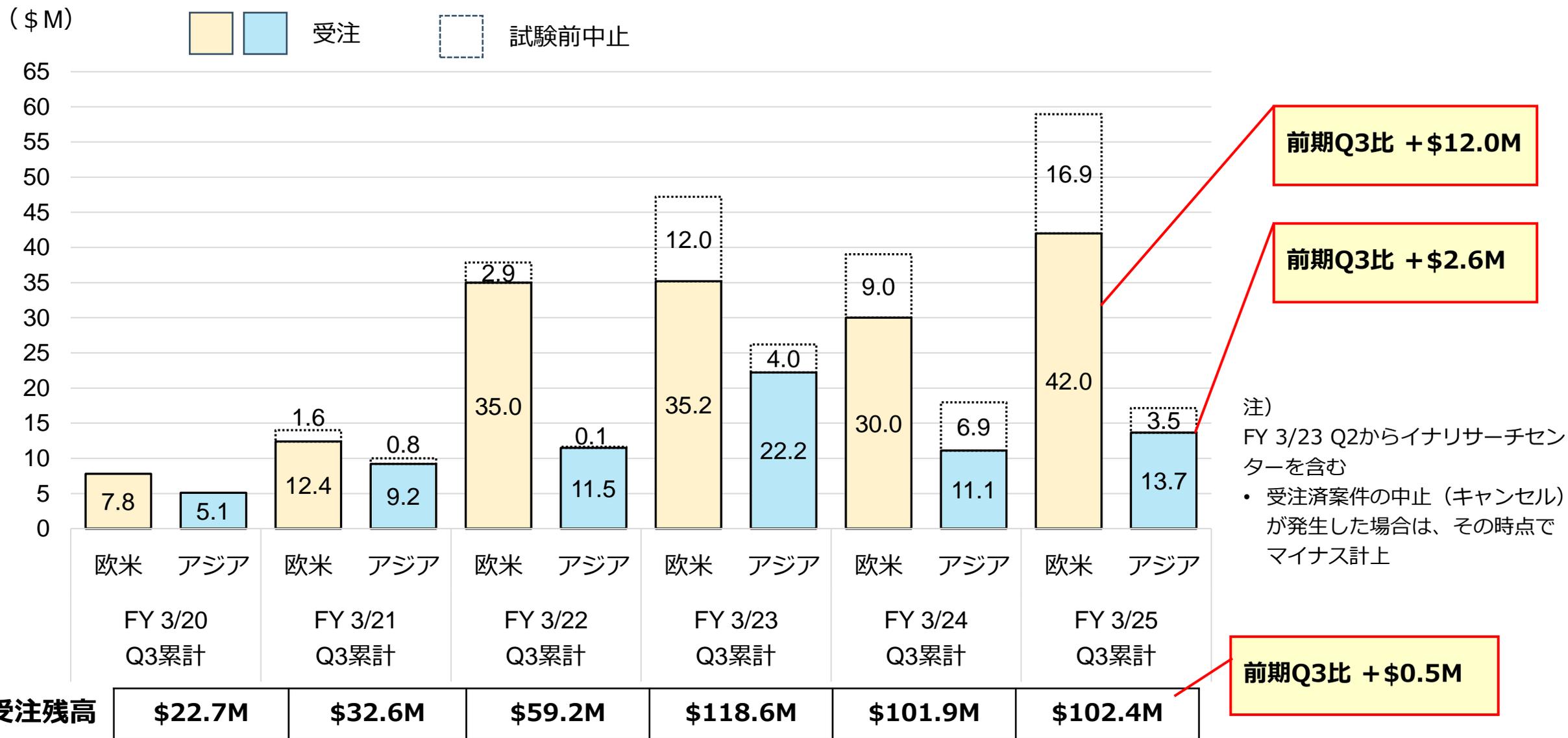
注) 23/3期 Q2からイナリサーチセンターを含む
・ 海外受注残高は円換算レートを各期の期末レートで算定

受注残高
海外受注高比率

受注残高	118.7億円	138.0億円	199.5億円	325.9億円	338.6億円	355.7億円
海外受注高比率	14.7%	19.4%	29.0%	41.0%	28.7%	38.3%

前期Q3比 +17.1億円

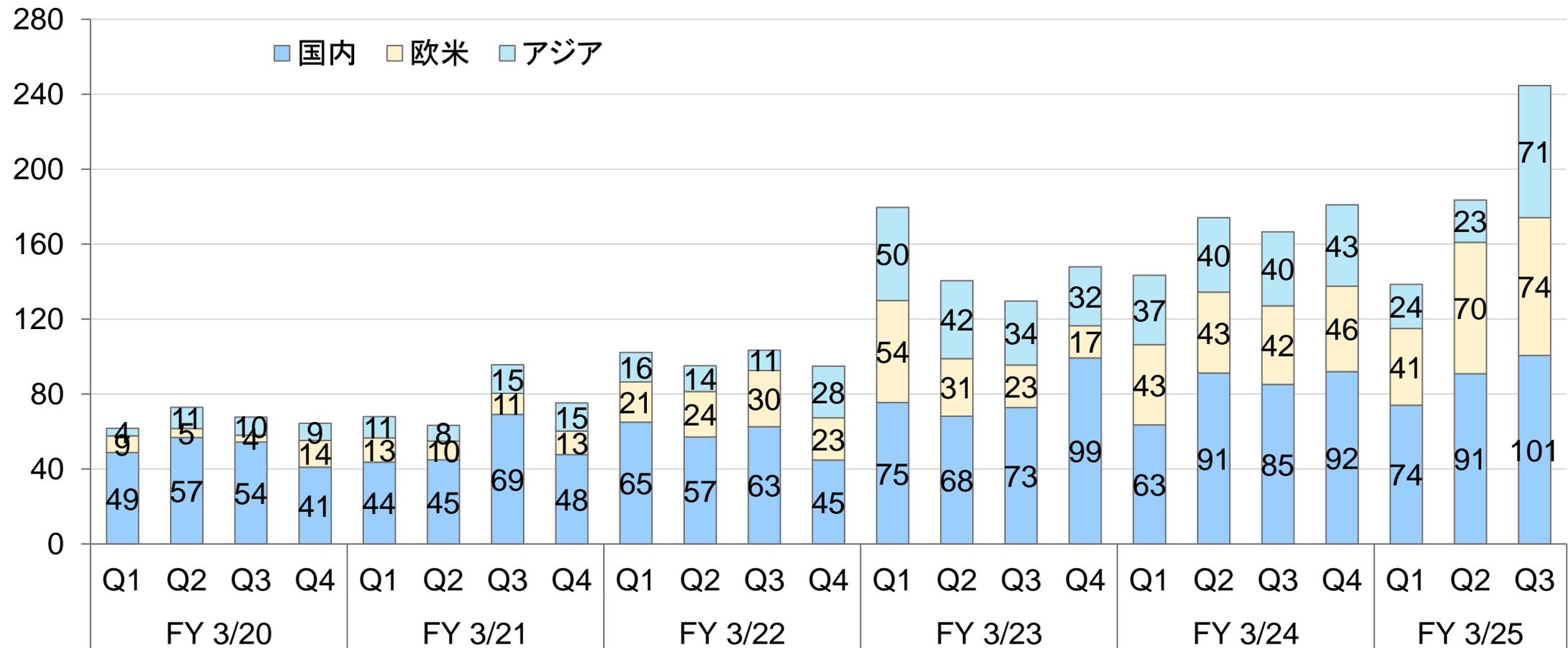
CRO事業：2025年3月期 第3四半期 非臨床 海外からの受注状況（US\$ベース）



CRO事業：見積提出金額の推移

※ 海外の問い合わせ状況は円換算レートを各期の期中平均レートで算定

(単位：億円)

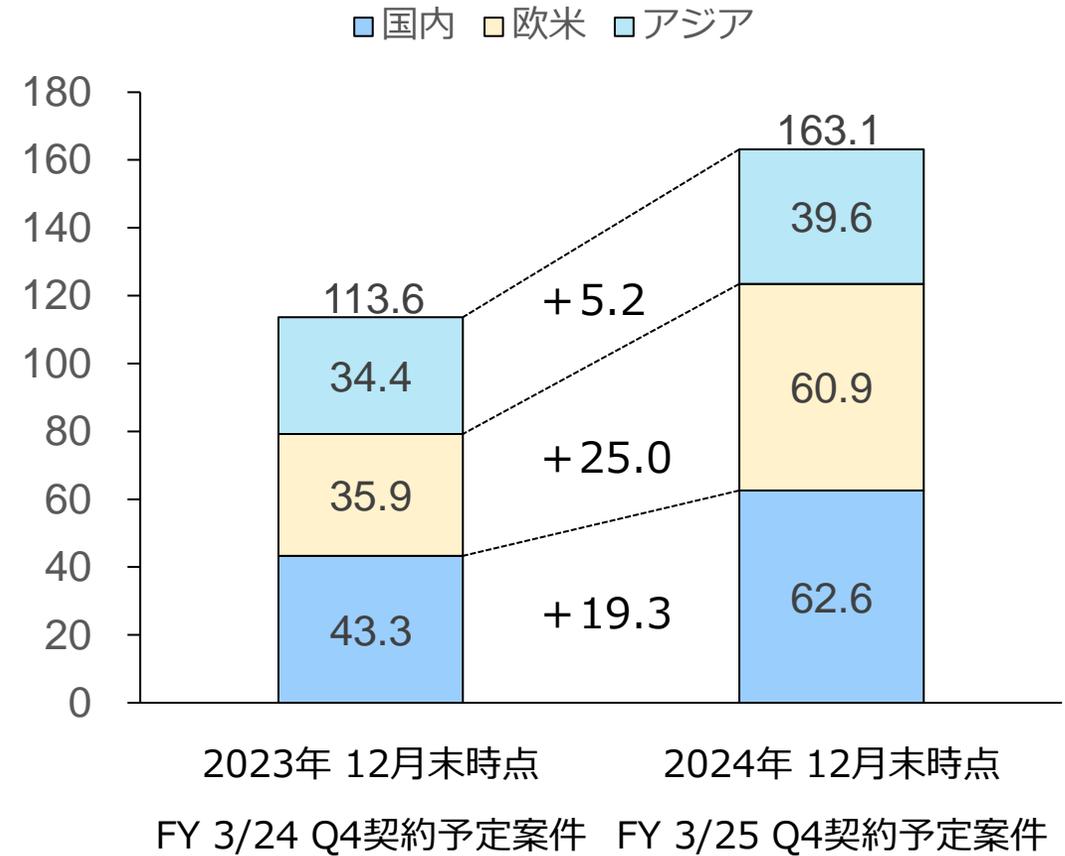
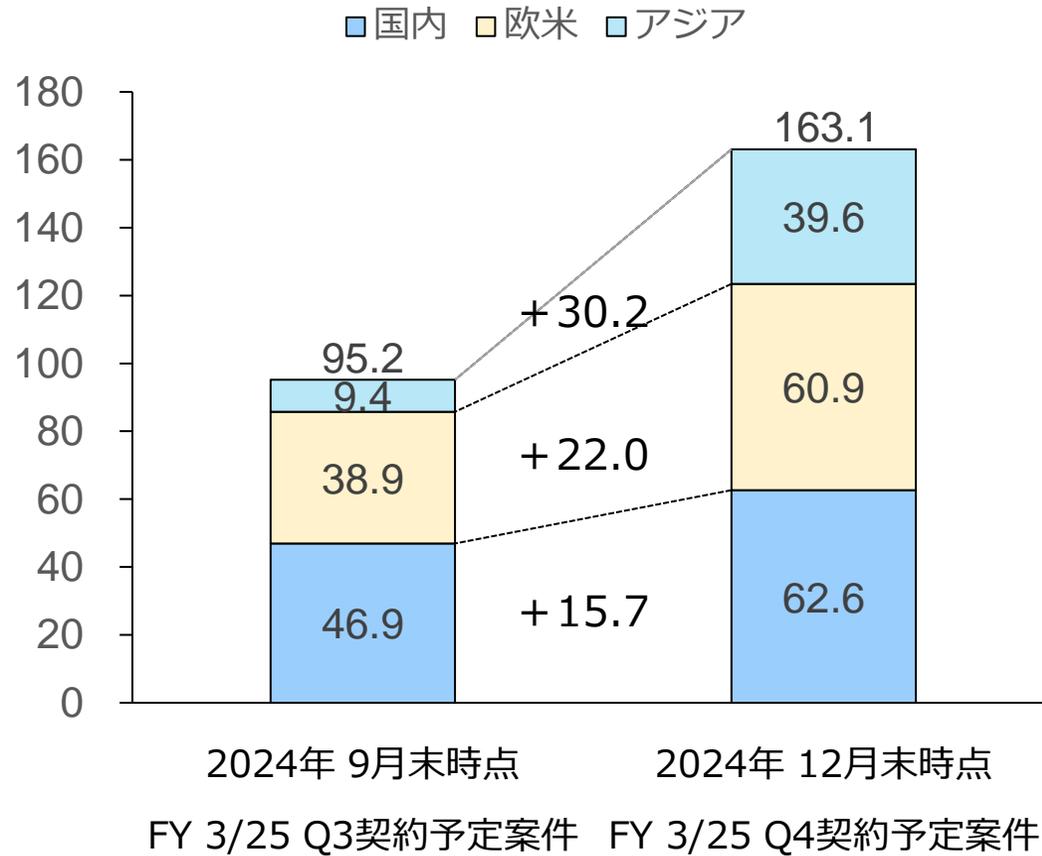


CRO事業：2025年3月期 第3四半期 問合せ状況



※ 海外の問い合わせ状況は円換算レートを各期の期中平均レートで算定

(単位：億円)



国内

- 前期比731百万円の減少（5%減）
 - 国内製薬メーカー・バイオベンチャーからの受注は前期並み。
 - 前期に受注した大型の農薬パッケージ試験が、今期剥落し、国内トータルとして前期比減少。

海外

アジア

- 前期比588百万円の増加（36.6%増）
- 韓国市場からの受注増加を企図し、韓国営業代理店を一本化した上で資本提携した。
- 韓国国内で非臨床関連最大の学会The Korean Society of Nonclinical Study (KSNS)へ参加（10/17-10/18）。

海外

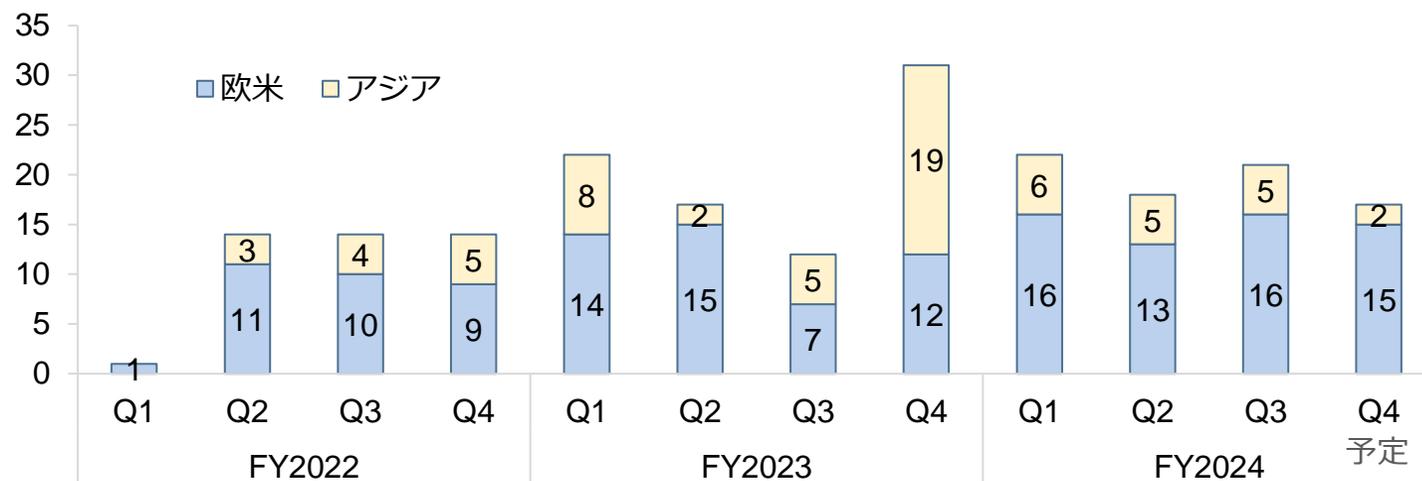
米国

- 前期比2,159百万円の増加（50.0%増）
- 米国で非臨床関連最大の学会Society of Toxicologyの分科会であるNorthern California 2024 Fall Symposium（10/14-17）およびAmerican College of Toxicologyの年会（11/17-20）へブース出展。
- 当社が確立していた実験用NHPのサプライチェーンが奏功し、NHP試験を他社よりもリードタイム短く、確実に実践できる点が、大きな訴求ポイントになっている。さらに、サービスを受けた顧客からは、品質の高さと柔軟性についても高評価を受けている。

海外顧客の訪問増加

- 海外顧客の当社訪問は、引き続き高いレベルで推移している。

海外顧客の訪問件数推移



3. 事業トピックス

②CRO事業（臨床）



取締役副社長

CRO事業管掌・ホスピタリティ事業管掌

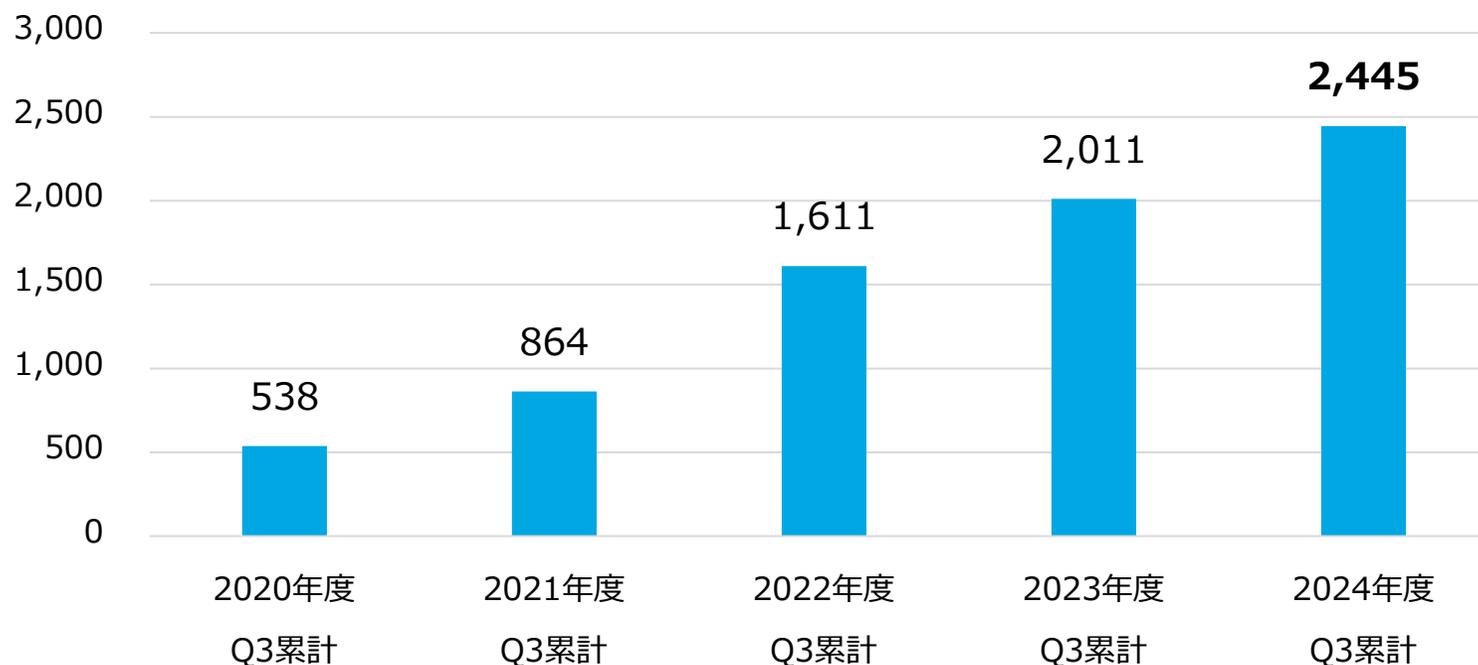
新日本科学PPD 代表取締役社長

永田 一郎

- 新日本科学PPDからのQ3累計期間の「持分法による投資利益」は2,445百万円（前期比+434百万円）と大幅に増加し、Q3累計期間として過去最高を記録。
- 2024年12月末の従業員数は1,063人。

(単位：百万円)

新日本科学PPDからの持分法による投資利益



12月末時点の従業員数

732人	760人	835人	945人	1,063人
------	------	------	------	--------

3. 事業トピックス

③TR事業



代表取締役副社長
グローバルビジネス管掌
高梨 健

Satsuma
 偏頭痛の急性期治療を目的とする

SNLD
 パーキンソン病患者のオフ症状の改善を目的とする

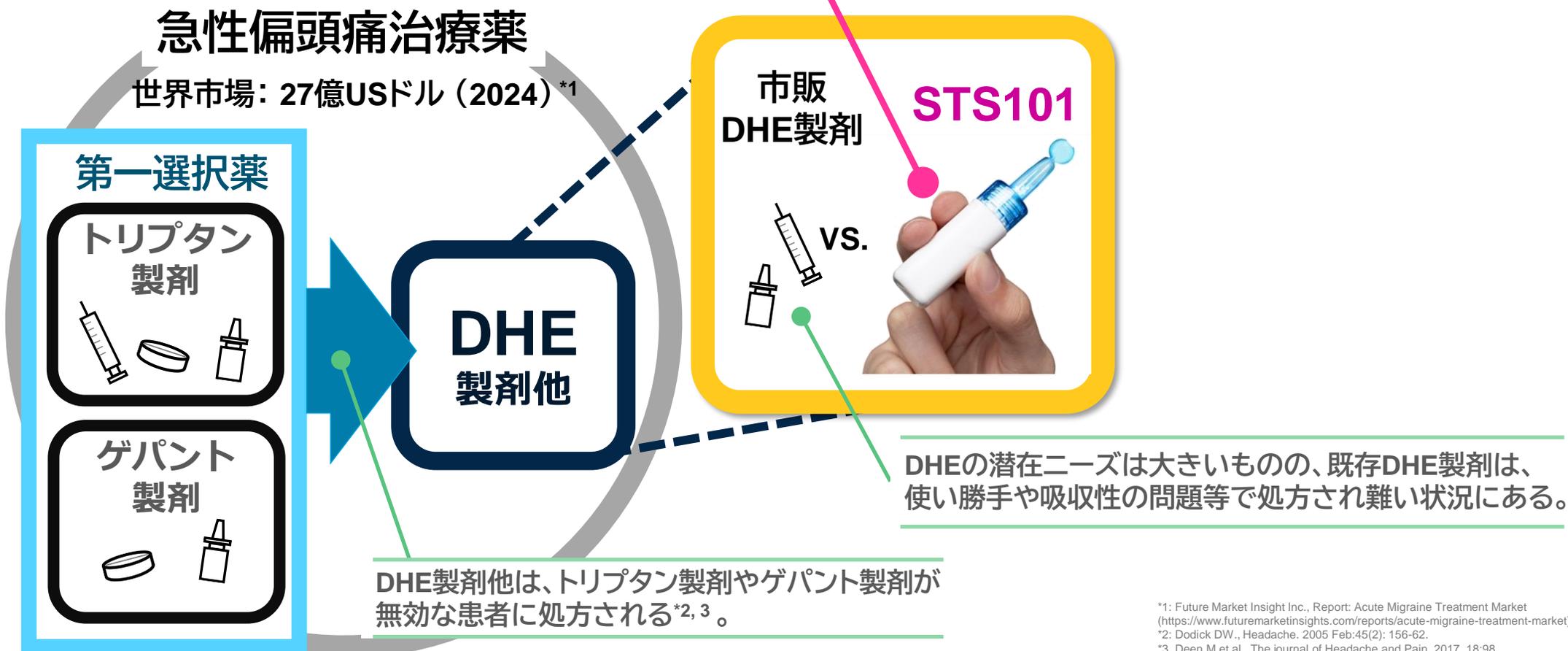


**経鼻粘膜ワクチン
 研究開発センター**

複数の呼吸器系ウイルスに対し上気道粘膜で感染を遮断する粉体型経鼻ワクチンの開発

研究助成金

- STS101は、既存DHE製剤の問題を克服した新規経鼻DHE製剤です。
- 偏頭痛専門医100名に対する独自調査において、専門医が受け持つ偏頭痛患者の**30%程**にSTS101を処方したいとの調査結果を得ております。



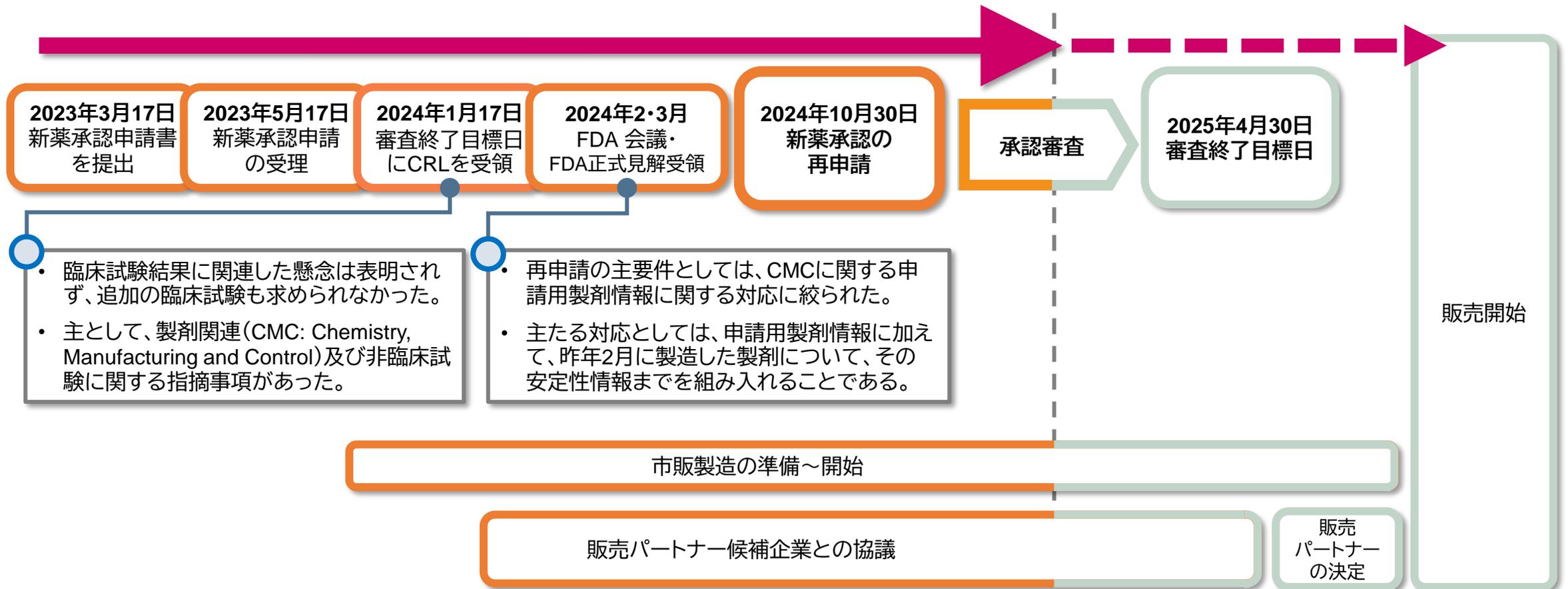
^{*1}: Future Market Insight Inc., Report: Acute Migraine Treatment Market (<https://www.futuremarketinsights.com/reports/acute-migraine-treatment-market>)

^{*2}: Dodick DW., Headache. 2005 Feb;45(2): 156-62.

^{*3}: Deen M et al., The Journal of Headache and Pain. 2017. 18:98,

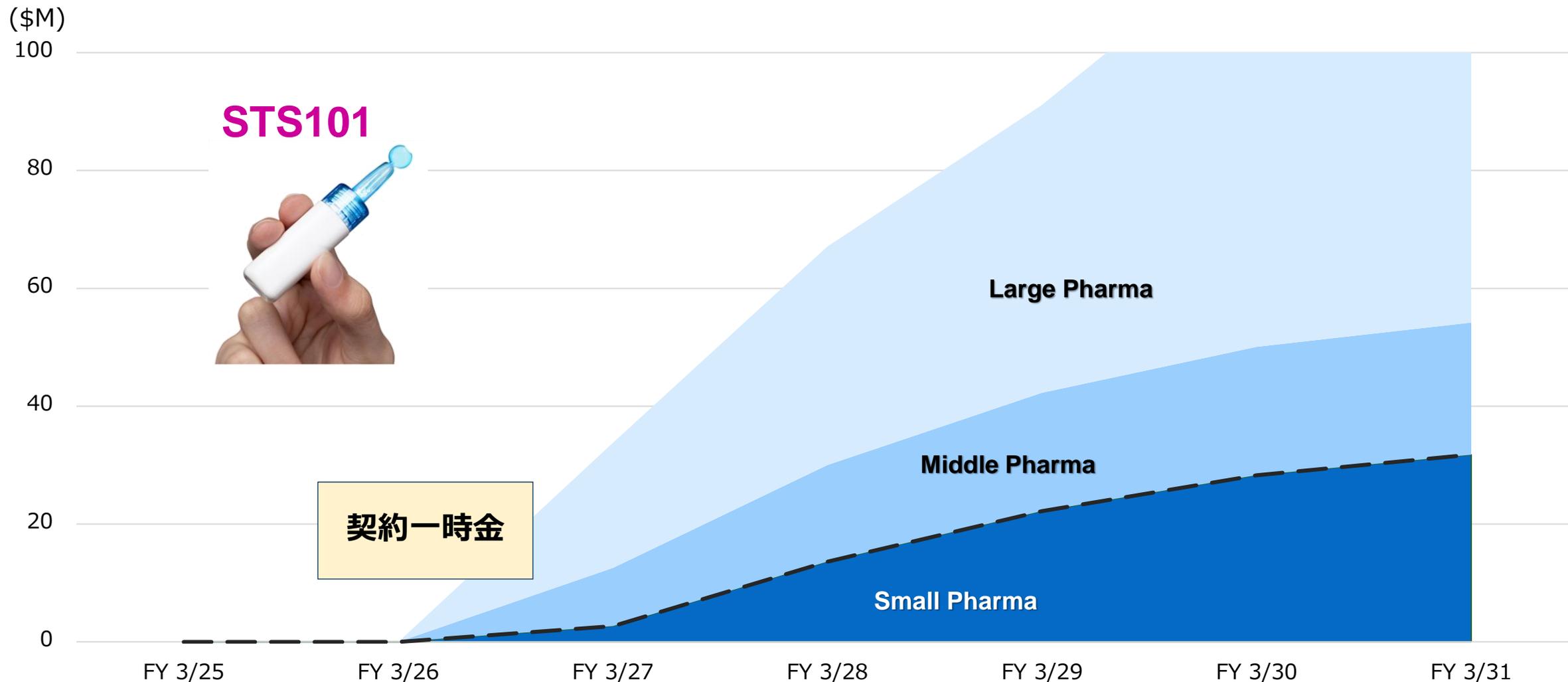
TR事業：Satsuma社 STS101の開発状況

昨年10月30日（米国時間）に米国FDAへSTS101の新薬承認の再申請を行い、審査終了目標日が本年4月30日（米国時間）に設定されました。承認審査対応は順調に進んでおります。



TR事業：今後のSTS101開発と想定されるライセンス収入モデル

審査期間中のFDA対応に加えて、パートナーリング活動にも注力します。



TR事業：SNLD社によるパーキンソン病薬の開発を推進中



【パーキンソン病の主な運動症状】



手足が震える



転びやすくなる



動きが鈍くなる



筋肉や関節が固くなる

当社連結子会社SNLD社は、パーキンソン病（PD）のオフ症状に対して、自分で投与でき、速やかな症状改善が期待できる経鼻オンデマンド治療薬の国内開発を推進中

TR-012001
(リード開発品)

Phase 1 試験
(健常人安全性/PK) 試験

安全性、忍容性に大きな問題はなく、速やかな血中濃度上昇を確認



Phase 2 試験

本邦で2024年1月に与薬開始/終了
最終報告書が確定し、
米国神経科学アカデミー会議 AAN2025発表に向けて準備中

“リード開発品”を用いたPD患者対象のPOC試験

TRN501
(改良開発品)

Phase 1
(健常人安全性/PK) 試験

本邦で2024年8月に与薬終了
治験総括報告書作成中

さらなる経鼻吸収の改善を目指す、TR-012001の改良開発品・TRN501を用いた日本人健康成人対象のP1試験

日本医療研究開発機構（AMED）

先進的研究開発戦略センター（SCARDA）

Mission

安全で効果的な日本初のワクチン創出に貢献します

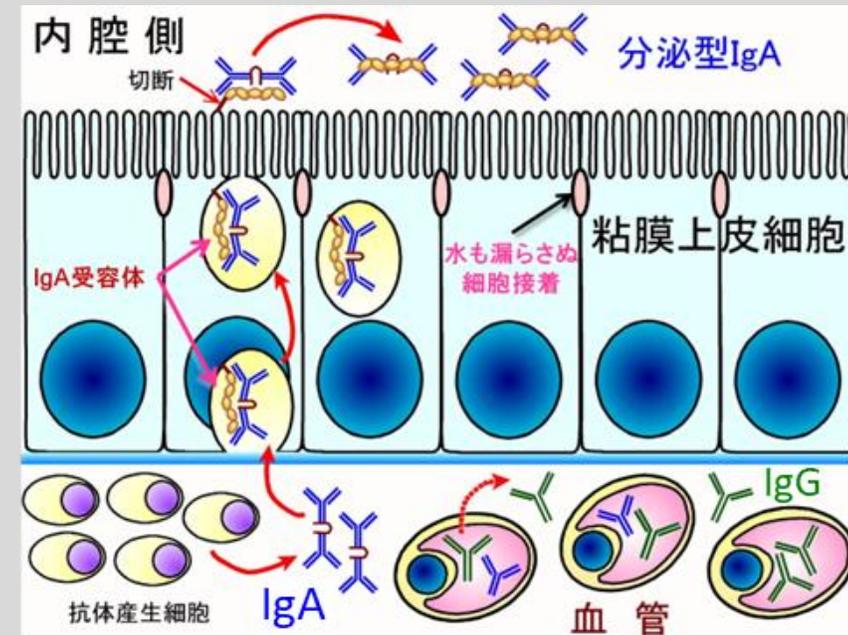
Vision

- 次の「いざ」に備えて、柔軟に対応できる研究開発体制を支えます
- 産学官の英知を結集し、世界に誇るワクチン研究開発基盤を強化していきます

令和5年度「ワクチン・新規モダリティ研究開発事業（一般公募）」
（応募36件中採択5件、採択率13.9%、民間企業では当社のみ）

当社の
「粉体噴射型 IgA 産生誘導経鼻ワクチンシステムの開発」が採択

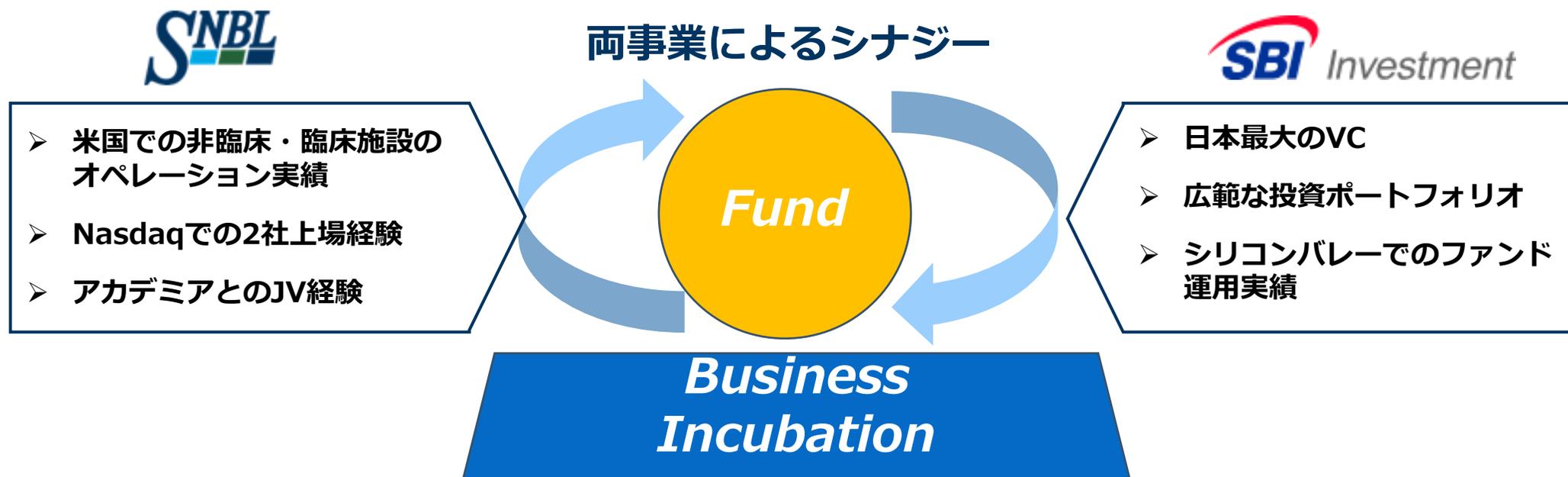
非臨床POC取得まで約1億円の予算を獲得



出典：株式会社新日本科学

そもそも感染をおこさせないこと（遮断免疫）を
狙った粉体型経鼻ワクチンの開発に向け、
製剤化研究と非臨床試験を実施中

- 昨年Q2に当社が米国ワシントン州に所有するインキュベーション施設の運営会社とスタートアップ企業を対象とした投資ファンドをSBIグループと共同で設立。
- 更に、昨年11月に世界最大手のイノベーション・プラットフォーム企業のPlug and Playが共同ファンドのパートナーとして参画。

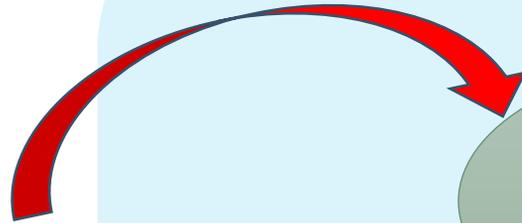
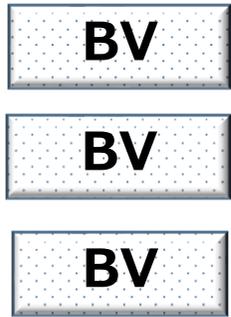


米国内にインキュベーション施設という形で投資活動拠点を構える事により、
現地VC等のネットワークを拡充し、既存投資先の米国進出サポート強化、
新規投資先の発掘や開拓を行い、現地インナーサークルから新たな投資機会を獲得する

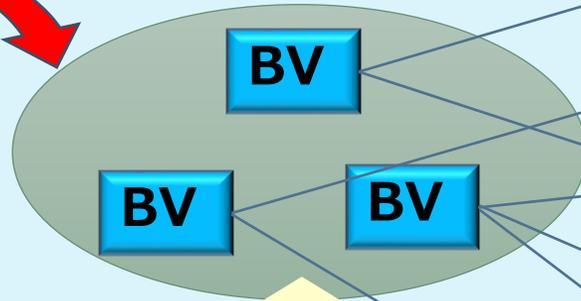
日本

米国

日系バイオベンチャー米国進出支援



SNBL Global Gateway (SGG)



1月JPMヘルスケアカンファレンス(in SF)にて、創薬エコシステムのための人材交流の場(レセプション)を開催

施設提供 施設提供
 資金調達支援 資金調達支援
 総務人事支援 総務人事支援
 CROサービス支援 CROサービス支援
 事業開発支援 事業開発支援
 経営戦略支援 経営戦略支援

ボストン

サンフランシスコ

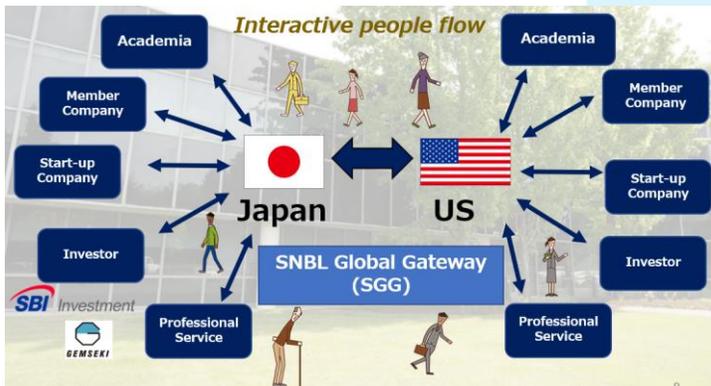
サンディエゴ

ボルチモア

ニューヨーク

フィラデルフィア

RTP



4. Q&A





業績データ一覧

(百万円)	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (予想)
売上高	15,658	14,561	15,110	17,748	25,090	26,450	32,000
前年比	-5.7%	-7.0%	3.8%	17.5%	41.4%	5.4%	21.0%
売上総利益	6,177	7,615	7,554	9,687	13,046	14,282	16,748
売上総利益率	39.5%	52.3%	50.0%	54.6%	52.0%	54.0%	52.3%
営業利益	829	2,228	2,529	4,195	5,245	4,162	2,900
前年比	-	168.5%	13.5%	65.9%	25.0%	-20.6%	-30.3%
持分法による投資利益	361	888	846	1,439	2,489	2,751	3,384
経常利益	1,613	3,121	3,645	7,078	9,194	7,015	5,900
税前当期純利益	1,650	3,062	4,175	8,183	7,759	6,974	--
法人税等	-308	414	497	1,016	1,708	1,456	--
親会社株主に帰属する当期純利益	1,950	2,550	3,661	7,127	6,060	5,531	4,400
1株当たり当期純利益 (円)	46.84	61.25	87.95	171.20	145.56	132.86	105.68
海外売上高	4,015	2,317	2,100	3,091	6,575	8,637	--
海外売上高比率	25.6%	15.9%	13.9%	17.4%	26.2%	32.7%	--
株主資本	9,958	12,386	15,840	22,181	25,751	29,252	--
純資産額	28,477	16,381	15,838	19,723	26,359	34,160	--
総資産額	54,329	39,002	36,972	39,312	57,242	76,302	--
有利子負債	16,158	15,123	12,864	9,281	18,931	26,331	--
自己資本比率	52.3%	41.8%	42.6%	49.8%	45.8%	44.7%	--
設備投資額	1,612	1,514	1,025	1,703	5,614	8,525	10,559
減価償却費	1,361	1,229	1,187	1,177	1,544	1,774	2,557
研究開発費	339	400	392	425	683	1,741	2,471
売上高R&D比率	2.17%	2.75%	2.59%	2.39%	2.72%	6.58%	7.72%
期末従業員数 (人)	935	985	986	994	1,208	1,341	1,465
自己資本当期純利益率 (ROE)	7.1%	11.4%	22.9%	40.4%	26.5%	18.3%	--
総資産経常利益率 (ROA)	2.9%	6.7%	9.6%	18.6%	19.0%	10.5%	--
投下資本利益率 (ROIC)	-	11.7%	12.3%	18.4%	17.9%	10.3%	--
売上高営業利益率	5.3%	15.3%	16.7%	23.6%	20.9%	15.7%	9.1%
売上高経常利益率	10.3%	21.4%	24.1%	39.9%	36.6%	26.5%	18.4%
1株当たり配当額 (円)	3.0	5.0	20.0	40.0	50.0	50.0	50.0
配当性向	6.4%	8.2%	22.7%	23.4%	34.3%	37.6%	47.3%

1. 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々なリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。
2. 本資料は国内外を問わず、投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。本資料の利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
3. この資料に含まれている医薬品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝 広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
4. 当資料は「2025年3月期第3四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」に準拠し作成しています。また、差額、比率については億円単位未満は切捨てて記載しております。

＜IRに関するお問い合わせ＞



株式会社新日本科学
IR広報統括部

電話：03-5565-6216

E-mail：ir@snbl.com

HP：https://snbl.com/